立花生徒会新聞 Gerbera 通信

新生徒会執行部決定

12月7日に生徒総会が行われました。そこで、8人の新生徒会執行部が決定しました。選挙では立候補者10人、応援演説12人が演台に立って全校生徒の前で堂々と話してくれました。これからの約1年間はこの新生徒会執行部を中心に活動していきます。私たちは昨年の生徒総会で演説をした日から、たくさんの人の協力でここまで頑張ってこれました。指導やアドバイスをしてくださった先生方。委員会などの係りの仕事や、大きな行事での準備・手伝いなどをしてくれた生徒のみなさん。私たちはみなさんに、たくさん助けられてきました。どれも私たちだけではよいものにはできなかったと思います。たくさんの人の支えがあったからこそ、私たち生徒会執行部はこれまで活動する事ができました。そしてみなさんに多くの協力をしてもらったのが、文化発表会です。全校生徒一人一人が、良い文化発表会にしようという気持ちを持ち、私たちに協力してくれました。その気持ちは会場を一つにし、ご来賓ご観覧の皆様にもこの立花中学校の文化発表会を楽しんでいただけたと思います。とても良いものになったと思います。

もうすぐ私たちは、新生徒会執行部に仕事を引き継ぎます。初めてのことばかりで、戸惑ったり失敗して不安に思ってしまうこともあると思います。そんなときは今まで私たちに接してくれたように、新生徒会執行部を支えてあげてください。委員会や生徒朝礼、行事がスムーズに進めることができなかったり、上手くいかないこともあると思いますがみなさんの中から「頑張ろう」と思い、当選した人たちです。きっとくじけずに頑張ってくれると思います。しかし最初もいったように、生徒会執行部だけでは何もできません。みなさんの協力があって初めて、何かを成し遂げる事ができるのです。ですから、生徒会執行部のメンバーが交代しても今と変わらず、協力してあげてください。

最後に、今までご協力・応援ありがとうございました。そして、これからも生徒会執行部にご協力お願いします。

『Gerbera』最終号 ありがとうございました

今月で生徒会新聞「Gerbera」が最終号を迎えます。私達、生徒会執行部は今までたくさんの記事を書いてきました。生徒会新聞はパソコンで新聞を書くソフトを使って800文字程度を頑張って書いてきました。一人一人が分担して一つの記事を書き上げていきました。その記事も生徒会執行部全員で決めて書きます。はじめは前年度の先輩方のようにできず、前年度にくらべてレベルの低いものとなっていました。ですが、生徒会執行部全員で力を合わせて試行錯誤し、みなさんにより読みやすい新聞を提供できたのではないかと思います。私達は記事の編集をしたり、記事の位置やタイトルの位置などを考え、みなさんにとって読みやすいものになるように新聞を作ってきました。最初は800文字がとても多く感じられ、いつも途中で行き詰まっていました。ですが、新聞を書き続けてきたので、今では文章力もついてきてスラスラと書けるようになりました。

みなさんは私達の生徒会新聞のタイトル「Gerbera」の花言葉を知っていますか。毎回、生徒会新聞の「Gerbera」というタイトルの下に花言葉を記載しています。花言葉は「常に前進・希望」という意味ですが、この花言葉には「立花中学校、全員で常に前進していきましょう。」というこの新聞のサブタイトルをもっています。私達は、このサブタイトルのように、みなさんが常に前進できるよう頑張ってきたつもりですが、私達はみなさんを引っ張っていくことができたでしょうか。私達が引っ張っていけたかどうかは、みなさん自身で考えてみてください。私達の今までの頑張りはこの生徒会新聞に込められています。この私達の生徒会新聞である「Gerbera」はこで最終回を迎えますが、生徒会新聞というのは新たな生徒会執行部が受け継いでいく限り、永遠に続きます。意味がわからない文があったり、誤字脱字や読みづらい部分があったと思いますが、今まで生徒会新聞「Gerbera」を読んでくださり、ありがとうございました。これからの新しい生徒会新聞もよろしくお願いします。

ガーベラの花言葉
常に前進・希望
(立花中学校、全員で常に前進していきましょう)

第13号　平成24年
12月14日
尼崎市立立花中学校
生徒会執行部　発行

冬休みがはじまります

もうすぐ冬休みに入ります。三年生は受験前最後の長期休みです。この冬休みをどう過ごすかは受験に大きく関わってくることでしょう。まだ余裕があるからと気を抜いて勉強をサボると、他の人に追い抜かされてしまいます。早いうちから三年分の総復習を毎日コツコツとやりましょう。何をすればわからない人は、期末テストか実力テストの問題をもう一度、時間を計って解いてみてはどうでしょうか。その後、解けなかった問題をもとに自分の苦手を見つけ、そこを重点的にやります。すると理解が進みますし、苦手を出来るようにしたことによって自信もつくと思います。また、時間を計ることによって試験本番の感覚を養えられ、集中力を上げることにもなるでしょう。実際の公立の入試は連続で五教科のテストが行われます。冬休み中に家で、出来るだけ同じ条件で行ってみてはどうでしょうか。しかし、やりすぎて体調を崩してしまっては元も子もありません。自分の体調と相談しながら無理のないように行いましょう。その点、毎日の生活習慣は大切です。試験当日は早起きする必要があります。学校がないからといって夜更かしをしていると昼間の学習にも悪影響をおよぼします。今の生活習慣を悪化させないようにつとめましょう。

ここまで三年生のことばかり話してきたようですが、もちろん一、二年生も例外ではありません。受験がまだまだ先のことだと思ったら大間違いです。今のうちから毎日勉強をするよう心掛け、受験前に苦労しなくてすむようにしましょう。受験には一、二年生で習ったことも一部出てきます。どこが出てくるかわからないからこそ、すべての苦手を克服できるようにしてください。また、先ほどの生活習慣の点でも、冬休みはお正月などで寝る時間が遅くなってしまい、体調を崩すばかりか休み明けの学校生活にまで支障がでてきます。毎日の授業は大切なので、万全の状態で受けることができるようにしてください。それでは、このようなことを頭に置き、充実した冬休みを送ってください。

正副委員会

突然ですが、皆さんは正副委員長会がどんな活動をしているかしっていますか。正副委員長会といえば、集会や朝礼などのときの集合・整列・点呼やチャイム着席・ノーチャイム着席週間の呼びかけ、授業始めと終わりの号令などをしている、というイメージがあると思います。もちろん、それらのこともしていますが、正副委員長会はそれ以外の仕事もしています。

たとえば、体育大会や文化発表会の行事の後には行事の反省点・良かった点をふまえて、クラスをよくしていく方法を考えたり、学年の悪い点・良い点を考え、学年の雰囲気をどのようにして良くするかなどを考えたりしています。最近行われた正副委員長会ではノーチャイム着席週間の結果をふまえて、これからのクラスをどうしていくかを考えました。このように、正副委員長会は整列・点呼や号令など目に見える仕事もたくさんありますが、クラスをこれからどうしていくかを考えたりするようなクラスのために、皆さんのためになる仕事もたくさんあります。

この立花中学校に入学してから「正副委員長会での仕事は簡単だ。」「正副委員長はやることがない。」などという言葉をよく聞きます。たしかに表での仕事は集合・整列・点呼や号令など、リーダーシップがあればできる仕事です。ですが、クラスのためにどうすればいいかなどを考えるのは簡単な仕事ではありません。クラスのために何かを考える、実際に行動するということはとても大切なことだと思います。このことはクラスのためになりますし、自分のためにもなると思います。ですから、正副委員長会の仕事を簡単だと思うのではなく、自分のためになる仕事だと思ってほしいです。正副委員長会では考えるということをしていますが、正副委員長に限らず、皆さんにもクラスのためにどうするかを考えてほしいと思っています。考えることはとても難しいことですが、少しずつ考えることを始めてみれば、自然にそういうことができるようになると思います。

これからは皆さんもクラスのために何か始めてみてはどうでしょうか。

編集後記

今月で私たち生徒会執行部の生徒会新聞「Gerbera」が最終号を迎えます。それと同時に私たち生徒会執行部の仕事も終わります。

今まで私たちにご協力してくださりありがとうございました。これからは新生徒会執行部が活動していくのでこれからもご協力お願いします。(池田・竹尾・池本・梶本)